

足立区環境基金審査会

議事録

令和4年2月10日

【環境基金審査会】会議概要

会議名	足立区環境基金審査会				
事務局	環境部長・須藤 純二、環境政策課長・加藤 鉄也				
開催年月日	令和4年2月10日(木)				
開催時間	13時30分から16時30分まで				
開催場所	足立区役所 庁議室				
出席者 (※オンライン参加)	※倉阪 秀史	※畠中エルザ	※町田 恵子	※市川おさと	いいくら昭二
	※ただ太郎	※畦上 慎司	※永野 充	※森下 秀重	
欠席者	なし				
会議次第	別紙のとおり				
資料	足立区環境基金審査会資料				
その他					

(加藤鉄也 環境政策課長)

みなさまこんにちは。環境政策課長の加藤でございます。会議に先立ち、一点お知らせいたします。

本日は新型コロナウイルス感染症対策として、会場とオンラインを併用した会議となっております。ご発言は、なるべくゆっくり、はつきりを意識していただきますようご協力をお願いします。

審査を進めるにあたり、オンラインでご参加の委員の方がご意見、ご質問のある場合は、画面に向かってわかるよう合図をお願いいたします。会場参加の委員の方は挙手いただき、事務局が確認し、進行いただく会長にお知らせします。

それでは、倉阪会長、お願ひします。

(倉阪秀史 会長)

本日は雪も重なり、ほとんどの方がオンライン参加の会議となっています。足立区は、一般の方が応募いただくユニークな制度として環境基金を運用しています。今回は、かなり多くの方から手が上がってきたということで頼もしく思っているところでございます。委員の皆様、公平公正な審査をお願いします。

本日は、委員定数9人のところ、9人全員出席しておりますので、会議が成立していることを報告いたします。また、本日の議事録署名人については、ただ委員といいくら委員を指名いたします。よろしいでしょうか。

続いて次第の3、資料の確認、会議公開規定の取扱いについて事務局からお願ひします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

それでは、配布資料を確認します。事

前に郵送、またはメールでデータをお送りした資料として、本日の次第、委員名簿、環境基金助成申請一覧、申請書類8団体分、評価の考え方と採択の基準

(案)、評価シート8枚がございます。

また、今回の基金助成の申請につきまして、先にお伝えしておく事項がございます。

事前にお送りした資料では審査いただく案件をNo.1から8でご案内していますが、実際の申請件数は30件ございます。お送りしている申請書類の受付番号8は、関三通り商店街からの申請に係るものですが、こちらは、まったく同じ内容で関三通りを含め23か所の商店街から別個に申請がなされており、申請額もそれぞれ20万円となっております。同一内容のため審査案件としては1件として示しておりますが、審査結果は、23か所の商店街に同じ内容で通知することとなります。

また、受付番号6と7は同じ案件名で活動内容も似通っておりますが、同じ系列の別会社からの申請となっております。こちらも意見交換等は合わせて行っていただいてよろしいかと思います。

続いて会議公開規定の取扱いについてですが、足立区環境基本条例の規定により、「審査会の会議は公開とするが、議決があったときは、非公開とすることができます。」となっております。委員の皆様の就任時に、申請内容を評価、審査することは、公開になじまないことや、公開することで申請者が傍聴する可能性も出てきてしまうということから、申請者の質疑の部分は公開し、審査に関する部分は非公開とすることを決定されております。今回の審査会においても引き続き

審査は非公開とさせていただくということでおよしいかのご確認をいただきたいと思います。

(倉阪秀史 会長)

ただいま事務局から説明があったとおり、本審査会は議決により非公開とすることができます。

これまでどおり申請者の報告や申請者との質疑応答までは公開し、その後の審査は非公開にしたほうがよいと考えますが、よろしいでしょうか。

(意見集約)

それでは、審査の部分は非公開とすることとします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

ありがとうございます。

事務局からは以上です。

(倉阪秀史 会長)

それでは続いて次第の4、審議の諮問について、事務局からお願ひします。

(須藤純二 環境部長)

環境部長の須藤です。足立区長から諮問書が出ていますので朗読いたします。

(諮問書 朗読)

よろしくお願ひいたします。

(倉阪秀史 会長)

ただいま区長から諮問をいただきました。本日は30件の申請について審査しますが、さきほど、事務局からご説明がありましたとおり、まとめて審査するものがあるということでございます。

それでは次第の5、評価の考え方と採択の基準について、事務局から説明をお願いします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

それではまず、本日の評価方法について説明いたします。評価の考え方と採択の基準（案）をご覧ください。

申請は一般助成とファーストステップ

助成に分かれます。受付番号の1、2が一般助成、3以降がファーストステップでございます。一般助成は、この後でプレゼンテーションと質疑がございます。ファーストステップは書類のみでの審査となります。

一般助成は、先進性部門、環境負荷の低減部門があり、それぞれの評価ポイントを記載しましたので、ご覧ください。

次に評価シートをご覧ください。申請者ごとに1枚ずつのシートがあります。全8項目を5から0までの6段階で評価しますので、各項目の評価欄に数字をご記載ください。オンラインで参加の方はプルダウンでご選択ください。

評価項目のうち6項目は共通で、2項目は部門ごとに異なります。

評価コメント欄には、活動内容と活動経費の視点から、評価する、あるいは評価しない理由、疑問点や条件を付けたいことなどのコメントをご記入、ご入力ください。採択・不採択をご検討いただく際に使用します。

次に採択について説明いたします。

集計作業終了後、評価の集計結果とコメントを画面上に公開します。その結果を踏まえ、各申請について1件ずつご確認、協議いただき、採択・不採択を決定していただきます。

採択の目安は全委員の合計が、6割以上、つまり平均3以上の評価としますが、例えば5割以下の点数を付けた委員がいる場合など、評価にばらつきがある場合は協議のうえ採択、不採択を決定いただきます。また、活動の一部のみ認める、助成金の使途を限定するなどの条件を付けるときは、皆様のコメントなどを考慮して、協議のうえ決定いただきたい

と思います。

中には、審査が難しいこともあるかもしませんが、公費を使っての助成でございます。専門家、区議会議員、区民それぞれのお立場、視点での審査をお願いいたします。

以上、事務局案について説明いたしました。

事務局からは以上です。

(倉阪秀史 会長)

ありがとうございました。

それでは、簡単に整理いたします。

活動内容を5点から0点までの6段階で評価する。特に意見があれば、自由記述欄に記入する。

集計の結果、採択の目安は全委員の合計が6割以上。平均3以上が採択の目安です。ただ、機械的に平均を出すのではなく採点のバラつきがあった場合は、委員間での協議によって採択するということでございます。条件を付す場合、自由記述欄にご記入いただければ幸いです。

評価、採択について、ご意見やご質問はございますか。

商店街については、関三通り商店街が出ていますが、地域に特有のコメントは付けません。すべての商店街に共通の一般的なコメントは触れていただきても構わないということです。

事務局に確認ですが、No.6と7は同じ系列の別企業の申請になっているということですが、別評価でよろしいでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

別の評価でお願いします。

(倉阪秀史 会長)

わかりました。シートは8種類書いていただくことになります。

それでは、評価と採択の基準は、事務

局案のとおりでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございました。

審査に移る前に一点確認をいたします。委員の皆様の中に、本日の申請者と利害関係のある方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いします。

(挙手なし)

利害関係者なしと確認しました。

それでは、次第の6、一般助成申請者のプレゼンテーションに移りますので事務局は申請者の入室案内をお願いします。

<申請者入室>

(倉阪秀史 会長)

申請内容について、8分程度でご説明をお願いします。2分前と、8分たったところで事務局から合図します。その後、約10分の質疑応答を予定しています。それでは開始してください。

(進栄化成株式会社 進藤浩 氏)

進栄化成株式会社でございます。資料を共有いたします。

私共はペットボトルキャップを由来としたトイレタリー容器原料の製造ということで申請をしています。ペットボトルキャップをリサイクルし、ペレットという細かい粒を作り販売している会社です。ペレットをトイレタリー容器の原料にする活動に取り組んでいます。

まず、会社の説明をさせていただきます。1970年に足立区梅田で創業して、プラスチックのリサイクルに取り組んでいます。プラスチックを粉碎して、熱をかけて溶融し、冷やして固まったものがペレットというものになります。

その中で、ペットボトルキャップを原料の一つとして開発をはじめています。

ペットボトルキャップのリサイクルに取り組んだのは、2009年です。ペットボトルキャップを集めてワクチンにする事業にも取り組んでいます。

ほとんどの自治体は、ペットボトルの本体は回収していますが、キャップとラベルはごみとして捨ててくださいと指導しています。しかし、捨ててしまうのはもったいないということで、身近にある廃プラスチックをリサイクルするエコキャップ運動に共感して、関東一円をトラックで回り、月250トン程のペットボトルキャップを回収してリサイクルしています。

リサイクルして作ったペレットは、現在は、冷蔵庫の一部や自動車のアンダーカバーに使われています。リサイクルしたプラスチックは、消費者の目に届かないところに使われているケースが多いです。

今回、大手のトイレタリーメーカーが環境問題に取り組む中で、リサイクルしたペレットを積極的に使いたいということで、2年前から開発に取り組んでいます。ペットボトルキャップであれば量も十分あり、プラスチックの原料もわかりやすく一番優れているということで、キャップを由来とした容器の開発に取り組んでいます。

トイレタリー容器の条件としては、一度に大量の製品を供給しないといけないため、大型のリサイクル機械が必要になります。また、同じ品質のものをつくるないといけないため、大型の混合機を導入し、一度に大量に混ぜることで安定した製品を供給することができます。

区への貢献として、2014年からごみ減量推進課と協力して、足立区の小中

学校を回り、ペットボトルのリサイクルやごみ処理方法などの環境学習の出前授業をしています。その中で、リサイクルしてできた製品が、手に取ることができるシャンプーボトルなどにも生まれ変わることを紹介することによって、皆様のリサイクルの意識が高まるのではないか。また、プレスリリースし、リサイクルが世の中に広く貢献できているということを示すことによって、リサイクルの取組や関心が高まるのではないかと考えています。以上です。

(倉阪秀史 会長)

ありがとうございました。このあと10分程度で質疑応答といたします。

(市川おさと 委員)

区議会の市川と申します。立派な事業でなるほどと思いました。一方で、ペットボトル飲料を消費するというよりも、マイボトルを使用する流れがありますが、ペットボトルの生産や供給は増えているのでしょうか。

(進栄化成株式会社 進藤浩 氏)

飲料全体でいうと、ボトルの製造量は、ここ2年で若干減っていると聞いています。ただ、すべての飲料がマイボトルとはならないので、脱プラであるのと同時に、出てきたプラスチックはリサイクルする必要があると考えています。

(ただ太郎 委員)

ただでございます。ご説明ありがとうございました。申請金額が1千万ですが、新しい機械を購入したあとに、月150トンの製造が可能ということでおろしいでしょうか。

(進栄化成株式会社 進藤浩 氏)

そうです。

(ただ太郎 委員)

毎月250トンほどキャップを集めていますが、集めたものの余りはどのように対応されますか。

(進栄化成株式会社 進藤浩 氏)

従来どおり家電や自動車の原料として使用します。大部分はトイレタリー容器に使用し、余った部分は既存のものに使用します。

(ただ太郎 委員)

今まで以上に、リサイクルの推進に図られるということでしょうか。

(進栄化成株式会社 進藤浩 氏)

リサイクルしたプラスチックが、目に見える製品として開発をするということが今回の申請です。

(ただ太郎 委員)

小学校における出前講座もSDGsの観点からも素晴らしいと感じました。ありがとうございました。

(倉阪秀史 会長)

ペットボトルの回収については、関東一円で引き受けていらっしゃって意義のある活動だと思います。

まず、ペットボトルキャップの回収に協力している人に知ってもらうため、足立区の環境基金で助成を受けた活動であることを、ホームページで書いていただきたいのが一点。足立区の区内の環境出前講座について、どの程度やられるのかを具体的にしてもらいたいというのが二点目です。

(進栄化成株式会社 進藤浩 氏)

出前講座は、足立区のごみ減量推進課の主体でやっています。希望する学校に赴いているため、具体的な件数は増やすことは難しいですが、積極的にアピールしていきたいです。

(倉阪秀史 会長)

過去何件くらいありましたか。

(進栄化成株式会社 進藤浩 氏)

4校から6校くらいです。

(いいくら昭二 委員)

区議会議員のいいくらです。私もペットボトルキャップの回収をしていますので、今後もよろしくお願ひしたいと思います。

コロナ禍で、部品の納入が間に合わないという話がありますが、收支予算書どおりいかない場合、どのような対応を考えていますか。

(進栄化成株式会社 進藤浩 氏)

見積もりよりも上がった場合は、足りない部分は銀行から借入等をして、この事業は完遂させるつもりです。

(畠中エルザ 委員)

プレゼンありがとうございました。ホームページを拝見させていただきまして、見える化という点について、ごみ箱やボールペンに加えて、トイレタリー容器を追加することがポイントなのでしょうか。

(進栄化成株式会社 進藤浩 氏)

ボールペンやプランターは、実際には販売につながっていません。ボールペンは事業 자체がなくなっています。

トイレタリー容器は、手に届くということが間違いない商品で、PRできると思います。

(倉阪秀史 会長)

他はいかがでしょうか。なければ、以上とさせていただきます。申請者は退出をお願いします。

<申請者退出>

それでは、事務局は次の申請者の入室案内をお願いします。

<申請者入室>

(倉阪秀史 会長)

申請内容について、8分程度でご説明をお願いします。2分前と、8分たつたところで事務局から合図します。その後、約10分の質疑応答を予定しています。それでは開始してください。

(株式会社谷口 新氏)

株式会社谷口の新と申します。もう一名小川が同席しています。よろしくお願ひいたします。

申請書に書かせていただきましたが、昭和10年千住の中居町で酒販店をはじめて約90年になります。足立区が中心で、東京23区、埼玉県、千葉県、神奈川県一部で、酒販を専門として商いを行っております。部門を大きく分けると、小売りと卸と飲食店の直営店がありまして、今回は、飲食店に商品を卸す部分の改善をしたいと考えています。

全国で飲食店は、26兆2千億円の売り上げがあり、直近はコロナの影響で18兆2千億円まで下がっていますが、店舗数は全国で145万件、東京都で19万件くらいで、シェアが東京都で13%くらい、東京都の飲食店が多く、かなり大きなマーケットになっています。足立区の具体的な数字はありませんが、東京都に飲食店が多く集まっており、お酒・食品も含め商いを営んでおります。

大きな問題の一つに、同業他社が同じ場所に同じ商品を運んでいるという状況があります。我々は、指導が勝手にできませんので、お客様のご都合に合わせて運ぶしかありません。

どういうことかといいますと、配送先は、知り合いの飲食店からご紹介いただいてつながっていきます。例えば、Aと

いう飲食店が足立区に出店して、次に北区に出店したいというときに、本来は北区の酒販店もありますが、自然に紐づいていってしまいます。そのため、エリア外に行かざるをえないということが多岐にわたり生じております。

本来なら近い店が運んでいくのが最善ですが、長い歴史と業界の中で、同業他社にお客様をお願いすることができにくいというところが本音です。

とは言え、これでは非効率で生産性が悪くなりますが、なかなか本音を話す、自分の手の内を話すということができません。でも、腹を割って話すと、「本当は…。」ということがあります。それを改善ができないかということで、環境の部分も含めて取り組んでいきたいと思っています。

一つは、車両の部分、同じ先に行くのであれば、まとめて運べば車の台数を減らせ、交通事故も減少できるのではないかと思います。CO2の排出も最小限に抑えられ、生産性と効率を上げるための策を取っていこうということです。

酒販店ごとに、基幹のベースを自社でカスタマイズしたオリジナルのシステムで走っていまして、トンネル開通するのが難しいですが、まとめ上げて吐き出することで、共同配送を構築していきたいと考えております。これは、物流の部分で一番の重いところかなと考えています。

一つは、電気自動車の話が上がりまして、三菱でもキャンターというトラックがありますが、通常のディーゼル車よりも価格が倍以上です。助成金で今後紐づいていただければ、車両の入れ替えも行っていきたいと思っています。

宅配の不在通知も大きな問題になっていまして、再配達はかなりのロスで、CO2も過剰に排出してしまう。置き配がクローズアップされていますが、新たな物流体制・配達体制を構築していくながら、ドライバー不足もありますので、今が追い風と捉えまして、継続的に活動をいち早く進めて改善の成果を上げたいと考えております。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

(倉阪秀史 会長)

ありがとうございました。ご質問がある方はいらっしゃいますか。

では、私から質問します。

同業他社の方にどの程度広げができるかによって、環境効果が大きく変わるとと思いますが、状況はいかがでしょうか。

(株式会社谷口 新氏)

3社は具体的に話をしています。また、業界の全国酒類業界の集まりの御をやっている大手数社に話を聞いて、本格化するためにはなにが必要かということについて、例えば、お客様情報やどういった商品を運んでいるのか、月額どのくらいで発注がくるのか等、具体的になつたときにはじめて開示になると思いますが、いっしょに取り組みましょうとの返事はいただいています。具体的な契約はこれからとなります。

(倉阪秀史 会長)

他にいかがですか。

(森下秀重 委員)

物流の効率化となれば、人件費の削減に関わってくると思いますが、環境効果だけではなく経済効果はどのくらいですか。

(株式会社谷口 新氏)

システムが構築できれば、経費削減につながります。さらに、シャアを拡大して拠点を増やしていきます。

(倉阪秀史 会長)

同業他社の費用負担はどのくらいでしょうか。

(株式会社谷口 新氏)

システム開発費が2千～2千5百万くらいですので、システム使用料は売り上げに応じた金額とする予定です。

(倉阪秀史 会長)

同業他社の中には、運送は別の会社で実施している等もあると思いますが、他社との情報共有は行っていますか。

(株式会社谷口 新氏)

スキームの説明はしています。

(畦上慎司 委員)

区民の目線から申し上げますと、環境への貢献は目に見えにくい部分なので、区民への周知やアピールの強化をしてほしいと思います。

(株式会社谷口 新氏)

地域に根付いた方法で周知していきます。

(倉阪秀史 会長)

他に質問がなければ、これで終わりにします。申請者は退出してください。ありがとうございました。

＜申請者退出＞

(倉阪秀史 会長)

続いて、委員の皆様で意見交換をし、そのうえで、評価していただきたいと思います。

【評価については非公開】

(倉阪秀史 会長)

それでは、採択・不採択を取りまとめます。

受付番号 1 ・ ペットボトルキャップを由来としたトイレタリー容器原料の製造は採択、 2 ・ CO₂ の排出削減と交通渋滞の緩和や交通事故の減少プロジェクトは不採択、 3 ・ プラスチックフリー農産物販売の実践と環境意識の醸成は採択、 4 ・ #千住暮らし まちめぐりは採択、 5 ・ 小学生の環境意識向上と地域団体と連携した活動への展開は採択、 6 ・ 区内清掃挨拶活動は不採択、 7 ・ 区内清掃挨拶活動は不採択、 8 ・ 商店街全体の環境意識向上と地域と連携した活動への展開は採択となります。

委員の皆様、ありがとうございました。これで本日の審査は終了いたします。審査結果は、事務局を通じて、区長に答申いたします。答申書については、時間の都合もありますので、会長に一任いただく形で、よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、私の方で答申書を取りまとめます。最後に委員の皆様から何かございますか。

ないようですので、事務局から事務連絡をお願いします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

長時間にわたり、ご審議いただき、ありがとうございました。事務局からのお知らせです。

次回の環境基金審査会ですが、第二期の申請についての審査会は調整中でございます。決まりましたらご案内させていただきます。

事務局からは以上です。

(倉阪秀史 会長)

ありがとうございました。進行に若干不手際がありまして、予定の時間を超過してしまい、失礼いたしました。

これをもちまして、環境基金審査会を閉会します。ありがとうございました。

以上

(会議録署名)

足立区環境基金審査会 会議録記録署名員
(令和4年7月20日 開催)

会長	信田 香史
署名委員	金田 正
署名委員	佐野 智恵子